

はじめに

Harley-Davidson Sportsterはこれまで数々のマイナーチェンジがされてきましたが、オイル交換の仕方については1986年から現在に至るまで変わっていません。このガイドでは1998年モデルを例に説明します。

ツール:

- Drain Pan (1)
- マイナスドライバー (1)
- Funnel (1)
- Oil Filter Wrench (1)

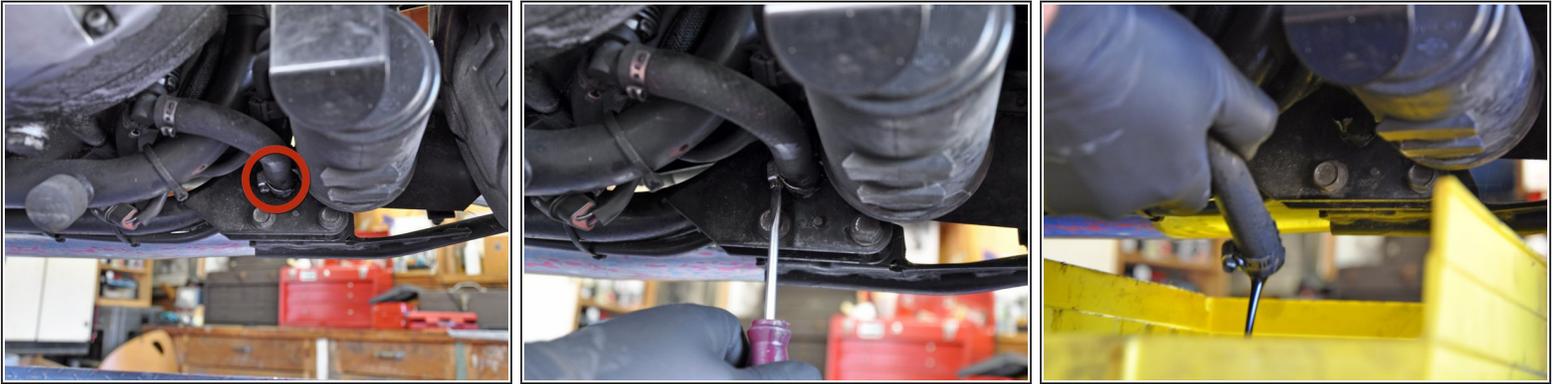
手順 1 — 準備



- ドレンホースに手が届きやすくするために、ジャッキなどを使用してバイクを持ち上げてください。

⚠ 安全に作業するために、作業場の整理整頓を心掛けましょう。また作業場では絶対にバイクを走らせないでください。

手順 2 — オイルの排出



- ① 多くの他のバイクとは違い、ハーレーダビッドソン・スポーツスター エボリューションのエンジンにはオールドレンホースが使用されています。プラグではありません。
 - このドレンホースはホースクランプ (留金) によって固定されています。
 - マイナスドライバーを使ってホースクランプ (留金) を緩めてください。なおオイルの受け皿を適切な場所に置いてからホースを取り外す様に注意してください。
 - ① オイルタンクからキャップとオイルゲージを外しておく事により、オイルが早く排出されます。
 - ドレンホースを引き抜き、受け皿にオイルを排出してください。
 - オイルの排出が終わったら、ドレンホースを交換しましょう。まだホースクランプ (留金) は閉めないでください。後ほどご説明します。

手順 3



- オイルフィルターはエンジンの前方部、パイプ下のフレームとフロントシリンダーの間に搭載されています。
- ⓘ オイルの受け皿をバイク前方部、オイルフィルターの真下へ移動してください。
 - オイルフィルターレンチを使い、オイルフィルターを外します。
- ⓘ オイルキャッチャーを使わない場合、排出されるオイルがフレームやバイクの各パーツに垂れることがあります。オイルが付いてしまった場合はすぐに拭き取るようにしてください。

手順 4 — 新しいオイルフィルターの取り付け



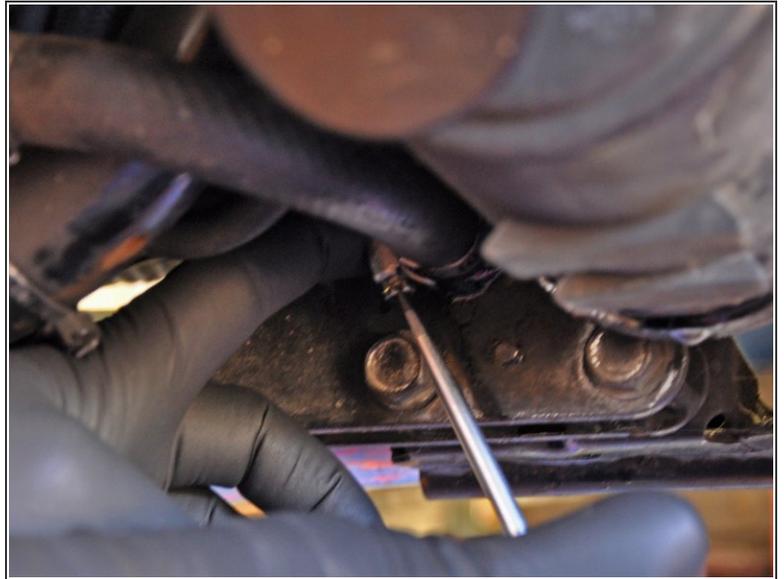
- オイルフィルターのおよそ半分が浸るまで新しいオイルを注ぎ入れてください。（画像では約 1 リットルのオイルを使用）
 - 少量のクリーンオイルをゴムガスケット（パッキン）に塗って馴染ませてください。
 - オイルフィルターを取り付ける場所や残っていたオイルが流れ落ちてしまった箇所をしっかりと拭いてください。
- ⚠** 古いゴムガスケット（パッキン）がフィルター取り付け箇所に残っていないかを確認し、新しいフィルターの取り付け面もきれいなことを確かめてください。

手順 5



- ゆっくりと新しいオイルフィルターを入れ、時計回りに回してください。その際に、強く締めすぎないように注意しましょう。エンジン側のガスケットに接触したことによる抵抗を感じてから半分ほど回すくらいが良いでしょう。

手順 6 — ドレインチューブの再取り付け



- オイルの受け皿をオイルドレインチューブの下に移動させます。この時オイルがチューブに溜まっている場合、残りがほとんど無くなるまでオイルを取り除きましょう。
- オイルドレインチューブを突起に再度取り付け、マイナスドライバーでホースクランプ (金具) を締めてください。

手順 7 — 新しいオイルの追加



- オイルキャップとオイルゲージをタンクから取り外します。
 - ① いくつかのモデルではオイルキャップを取り外す際に最初に捻る必要があります。もし自分のバイクがそのモデルか不明な場合、傷つけないように注意して優しく取り扱しましょう。
- ファンネル (漏斗) を使ってゆっくりと約3リットルのオイルを入れてください。
 - ① エボリューションエンジンは新車やオーバーホールした場合は約3.5リットルのオイルを入れる必要がありますが、オイル交換の場合は3リットルで問題ありません。
- (サイドスタンド等を使用してバイクの位置を固定し) オイルゲージでオイルの量を確認しながらオイルゲージの二つのマークの間に来る様に調整下さい。約3リットルのオイルを入れると上のマークの位置に来ているでしょう。

オイル交換が終わったらエンジンをかけ、実際に走らせてみながらオイル漏れがないか確認しましょう。必要に応じてエンジンオイルの量を調整して下さい。